

和歌山の留学生

# きのくに

第31号

(2020)



和歌山地域留学生等交流推進協議会

# 目次

## 1. 巻頭言 「コロナ禍を Keep in touch で乗り切ろう」

・・・近畿大学生物理工学部 学部長 梶山 慎一郎

## 2. 留学生から

「密教を学ぶ体験について」

・・・高野山大学 文学部密教学科3年 麗 麗 (中国)

「私の故郷はこんな国」

・・・和歌山工業高等専門学校 知能機械工学科3年

ラビアトル アダウィヤー ビンティ アズロール シャライン (マレーシア)

「私の故郷はこんな国」

・・・和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科3年

ナオ・チンホック (カンボジア)

「人生の豊かさとは」

・・・和歌山大学大学院 経済学研究科1年 LUU HA GIANG (ベトナム)

## 3. 国際交流を考える

「留学体験記」

・・・和歌山大学 経済学部4年 山崎 菜々子

## 4. 調査と統計

- ・外国人留学生生活実態に関するアンケート調査集計結果
- ・県内外国人留学生との交流行事(事業)に関する調査集計
- ・県内外国人留学生との交流行事(事業)写真集
- ・和歌山地域の留学生受入状況/和歌山地域留学生の推移

## 5. 協議会の活動・・・事業報告

## 6. 資料・・・和歌山地域留学生等交流推進協議会要項・申し合わせ事項

# コロナ禍をKeep in touch で乗り切ろう

近畿大学生物理工学部  
学部長 梶山 慎一郎

「きのくに」第31号の巻頭言を依頼されたのは2020年2月の協議会でのことで、ちょうど中国武漢で新型コロナウイルス感染症COVID-19が発生し、連日武漢の惨状が報道されていた時期であった。日本においてもダイヤモンドプリンセス号での感染者が確認され、感染者が国内でも出始めていたころであったが、当時はまだ日本が中国を上回る感染者を出し、ほぼ1年が経過した今でもなお、感染拡大が止まらない状況となるとは想像もして



いなかった。本稿を書いている時点で、中国の累計感染者数は約9万人、日本は20万人余り、全世界では8千万人を超える感染者を出す事態となっており、今後ワクチンによる収束効果が期待されてはいるものの、未だ感染拡大に歯止めがかからない状況が続いている。現在世界的に人々の往来は厳しく制限され、否応なく国際的な交流は大きく遅滞している。大学においても国際学会の相次ぐ中止や、国際共同研究の遅延、留学生の渡航・帰国困難や孤立が生じ、国際交流に大きな影響が出ている。特に留学生は日本語能力検定試験の中止や延期、飲食店などの営業自粛にともなうアルバイト収入の減少、授業のオンライン化によるキャンパス内での友人との談笑の機会の減少などで、どれほど不安で心細い日々を過ごしているか想像に余りある。このような中すでに母国に帰ってしまった留学生も多いと聞いている。一方、世界に目を向けてみると、欧州などではアジア系民族に対する差別や偏見が激しさを増している。日本でも感染者への偏見や中傷が問題となっているが、地域の留学生がこのような偏見に遭遇していないことを祈るばかりである。世界が一丸となって対処しなくてはならないこの時期に、分断と対立を助長する偏見や差別は厳に無くすべきであろう。差別や偏見はそのほとんどが無知に由来する。この意味で教育機関の役割は大きい。近畿大学生物理工学部では、本学学生の外国語能力の向上と国際理解を図るためにキャンパス内にLanguage Spaceという教室を設けており、英語圏を初め、ドイツ、フランス、中国、韓国など様々な国の講師をお招きして各種イベントを開催するとともに、語学を通じて外国の文化を学ぶ機会を提供している。また、本学部教員が中心となって行っている地域活動「多文化オアシス」には学生も参加し、地域の外国籍の方々の相互理解の場となっている。交流はなにも対面だけで行う必要はない。Zoomなどのインターネットを利用したコミュニケーションツールが一般の人々にも身近なものとなった今、新しい国際交流のあり方も模索してゆくべきであろう。重要なのは、このような時期にあっても互いに連絡を取って、気持ちを繋いでおくことである。コロナ禍の中、お互いをよく知り、理解することの重要性がますます高まってきている。和歌山の留学生の皆さんが安心して生活し、勉学に励むことができるよう、Keep in touch で行きたい。

# 密教を学ぶ体験について

高野山大学 文学部密教学科3回生  
麗麗 (中国)



密教は多くの人にとって、言葉を聞くだけでも不思議な感じがするかもしれません。私は内モンゴル出身で、日本に4年前に来ました。仏教を学びたいと思っていて、美しい自然環境と宗教的雰囲気が私を高野山へ導きました。

密教では師から弟子へ法を伝える伝授を重んじるので、まず師を見つけ、得度と受戒を受けてから約百日間の四度加行という修行を行います。最後に伝法灌頂を受け、阿闍梨即ちお坊さんになります。

私は夏休みと春休みに四度加行をしました。朝3時に起きて修行を始める。冬の寒さと夏の暑さに耐えて長時間正座をする。百日間精進料理を食べ続け、体重が8キロ減りました。でもその修行を達成すると、耳が研ぎ澄まされ、鳥の鳴く声の素晴らしさや

自然の美しさがよく感じられるようになりました。密教の伝授は非公開で、自分がこれから何を学ぶのか知ることができません。私の経験では、仏教を学ぶにはまずインド仏教の歴史を知り、釈迦如来の一生をよく知った上で、どのように仏法を学ぶかを選びます。大切なのは、仏教の原点に立ち返って根本から離れないことだと思います。



# 私の故郷はこんな国

和歌山工業高等専門学校知能機械工学科3年  
ラビアトル アダウィヤー ビンティ アズロール シャライン  
(マレーシア)



「寒い!」とか「サブ!」は、私の故郷で全然聞かれません。なぜですか?一年中に暖かいからです。毎日、大体32°Cぐらいの暑さです。

私の国にいったら景色以外では食べ物が人気ですので、必ず食べてみてください。一番有名なたべものは、写真のような定食です。ご飯をココナツミルクで炊いたもの、あまくて辛いサンバルと茹でたまごなどを全部バナナの葉に包んだものです。

また、私の国にはいろいろな民族や宗教がありますので、さまざまな文化も実行しています。マレー系、中華系とインド系は民族の種類として一番多い人口です。

例えば、お正月には、マレー系はハリラヤという行事を、中華系はチャイニーズニューイヤーを、インド系だったらディパヴリを行います。

中学校から他の民族を知り、あわしたり尊重したりしますから全員仲良くしています。ハリラヤのときを例として、お祖母さんとお祖父さんの家に家族みんな集まって食事をしたり花火を見たりすることをします。

私のご近所さんは中華系の家族ですから、毎年チャイニーズニューイヤーに有名なライオンダンスを見られます。みかんとお金ももらいました。ということで、これがマレーシアです。



# 私の故郷はこんな国

和歌山工業高等専門学校環境都市工学科3年

ナオ・チンホック

(カンボジア)

私は、和歌山工業高等専門学校環境都市工学科3年D組に所属している留学生のチンホックといいます。カンボジア出身です。カンボジアというと、多くの日本人の同級生は世界遺産に登録されたアンコールワットしか思い浮かべないでしょう。それで、私はこれから私の故郷、カンボジアのことを簡単に紹介させていただきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

初めに、カンボジア人は自分のことをクメール人といい、クメール語を話しています。

「カンボジア語」という言語がないことを知っておいた方が良くと思います。また、皆さんご存じ通り、カンボジアの最も有名な観光地はアンコールワットです。アンコールワットはカンボジアの心と魂です。世界遺産に登録されているアンコールワットは、12世紀初頭に建てられ、地球上で最大の宗教施設で

す。そして、カンボジアの国旗は世界で唯一、建物が描かれていることが特徴です。

最後に、カンボジアの代表的な料理、アモックを紹介させていただきたいと思います。アモックは通常魚で作られる伝統的なクメール料理ですが、鶏肉や牛肉のアモックも人気があります。アモックは伝統的にバナナの葉で作られたボートのような器で出されます。カレーやシチューに少し似ています。ご飯なしでお召し上がりいただけます。カンボジアに旅行するなら、アンコールワットを訪れたり、アモックを味わったりしてください。



# 「人生の豊かさとは」

和歌山大学大学院経済学研究科1年  
LUU HA GIANG (ベトナム)

人生は一人一人異なり、誰もが自分の人生の中で他の人と違う経験をします。人生をもっと幸せと喜びに満ちたものとするための一つの方法として、留学という方法があります。では皆さん、留学についてどう思いますか。私にとって留学は良いことですが、もちろん簡単なことではありません。良いことを得るために相当な努力をしなければならないのは当たり前だと思います。

私は今まで留学して色々なことを学びました。たくさんの出会いを通して国境を越えた絆や信頼関係を築くことができました。私は大学1年生の時、勉強以外にもいろいろなイベントに参加し、多くの人と交流して、新しい友達がたくさんできました。しかし、経験豊かな皆の話についていけないことも多く、自分がまるで井の中の蛙だと感じました。それで、様々な体験をして視野を広げることが大切だと気づきました。

3年生になって、自分が積極的に体験・活動をしたいと思っていました。留学生会の会長を務めた期間、留学生同士や日本人学生及び地域の人達との交流や異文化理解を深めることを目的に、初詣や多国籍料理会、募金活動などのイベントを実施しました。また、日本での日本人のよい態度を学びました。例えば、日本では「もったいない」の言葉を頻繁に耳にします。特に食べる時必ず最後の一口まで残さず食べます。食べ物を残さないように子供のときから様々なことを教えられます。例えば、「ご飯を食べないとご飯が泣いている」や「ご飯一粒に7人の神様がいるから残してはいけない」などと教えられます。私の国は日本に比べて食べ物が多く残されます。子供だけではなく大人も食べ物についてあまり気にしないので残った食べ物は捨ててしまいます。



もし「留学は大変ですか」と聞かれたら、私は「大変です」と答えます。それでも、沢山の人の留学してもらいたいと思っています。なぜかという、留学することにより、様々な形で自分の人生を豊かにすることが出来るからです。留学を経験した私の考えとしては、留学は本当に価値のあることだと思います。機会があればぜひ挑戦して見ていただきたいと考えています。

# 留学体験記

和歌山大学経済学部4年  
山崎 菜々子

私は8か月間、インドネシアのガジャマダ大学に留学していました。大学で所属している学生団体（WAP）の活動で何度かインドネシアを訪れるうちに、この国のことを深く学びたいと思うようになり、留学を決断しました。

現地では、インドネシアの歴史や経済について学びました。語学学校に通い、インドネシア語の勉強もしていました。休日には、友人と映画を観たり、カフェ巡りや旅行を楽しみました。

私が生活していたジョグジャカルタという町は、住みやすい街でした。ショッピングモールに行けば、日用品は全て揃います。食事の宅配サービスや配車サービスが普及しており、私もよく利用していました。大雨で道が通れなかったり、停電といったハプニングもありましたが、今となっては良い思い出です。この留学で最も印象に残っていることは、宗教についてです。現地で生活し、宗教は彼らのアイデンティティの一部だと知りました。これまで宗教について考えることがなかった私にとって、彼らの宗教観や生活スタイルはとても興味深いものでした。



この留学は、インドネシアの文化や言語を学ぶだけでなく、自身を見つめ直す機会にもなり、社会人になっても生きていく経験だと感じています。





# 外国人留学生生活実態に関するアンケート調査集計結果

## 【調査目的】

県内外国人留学生の円滑な受け入れの促進と交流活動の推進を図るため留学生に係る生活面での実態を把握し、和歌山県地域留学生等交流推進協議会での検討資料とする。

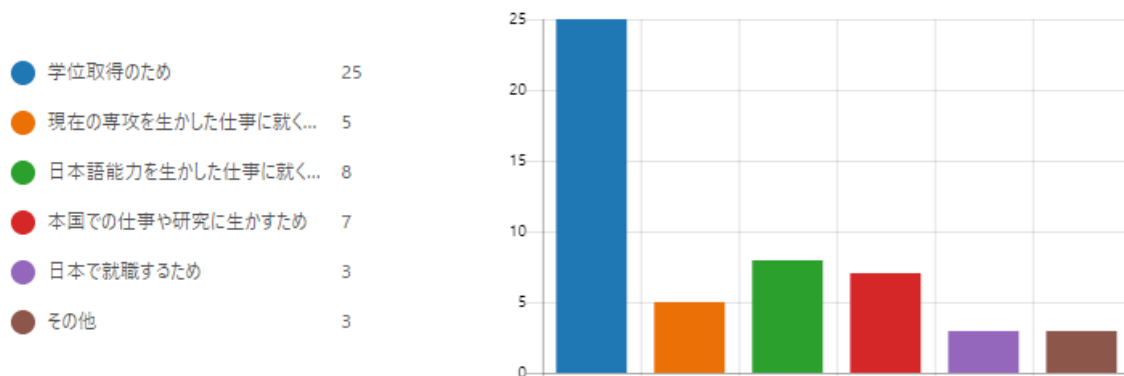
## 【調査項目】

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| A) 基本的事項について | E) 奨学金・授業料免除について   |
| B) 住居・通学について | F) 健康について          |
| C) アルバイトについて | G) 和歌山地域住民との交流について |
| D) 生活費について   | H) その他             |

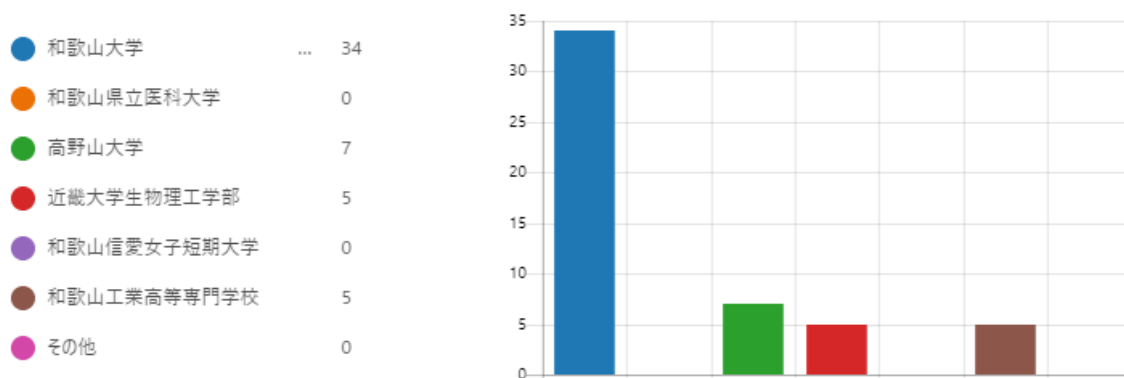
## 【調査時期・対象】 令和2年

和歌山県内の大学、短期大学、高等専門学校在籍の留学生 全172名 回答数：51名

### 1. A) 基本的事項について あなたが日本に留学した理由は何ですか。

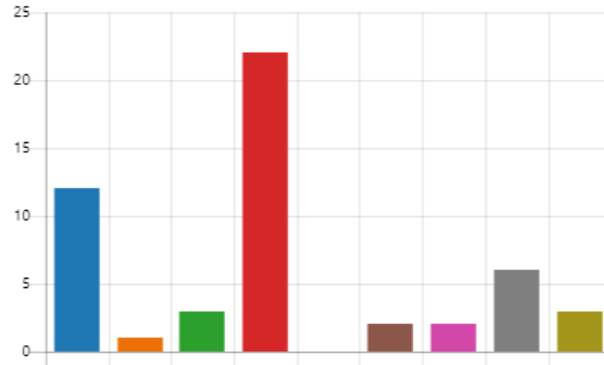


### 2. あなたの留学している学校はどこですか。



3. あなたが和歌山の今の大学等への留学をきめた理由は何ですか。

● 研究に適した指導教官がいた	12
● 母国の指導教官等にすすめられた	1
● 文部科学省から指定された	3
● 自分の専攻分野が合致した	22
● 大学間交流協定による	0
● 知人がいる	2
● 母国政府の決定による	2
● 和歌山地域の環境がよい	6
● その他	3



4. あなたは日本に来て何年になりますか。

● 半年未満	5
● 半年～1年未満	0
● 1年～3年未満	24
● 3年～5年未満	15
● 5年以上	7



5. あなたの日本語学習経験は何年になりますか。

● 半年未満	0
● 半年～1年未満	1
● 1年～3年未満	24
● 3年～5年未満	19
● 5年以上	7



6. あなたは独身ですか、それとも結婚していますか。

● 独身	49
● 結婚している	2



7. 結婚している場合、あなたの妻（夫）や子どもは日本で一緒に住んでいますか。

● はい	3
● いいえ	9
● その他	2



8. 日本語能力について（日常会話について）

● わかる	35
● だいたいわかる	15
● あまりわからない	1



9. 日本語能力について（授業を聞くことについて）

● わかる	32
● だいたいわかる	17
● あまりわからない	2



10. 日本語能力について（本を読むことについて）

● わかる	27
● だいたいわかる	23
● あまりわからない	1

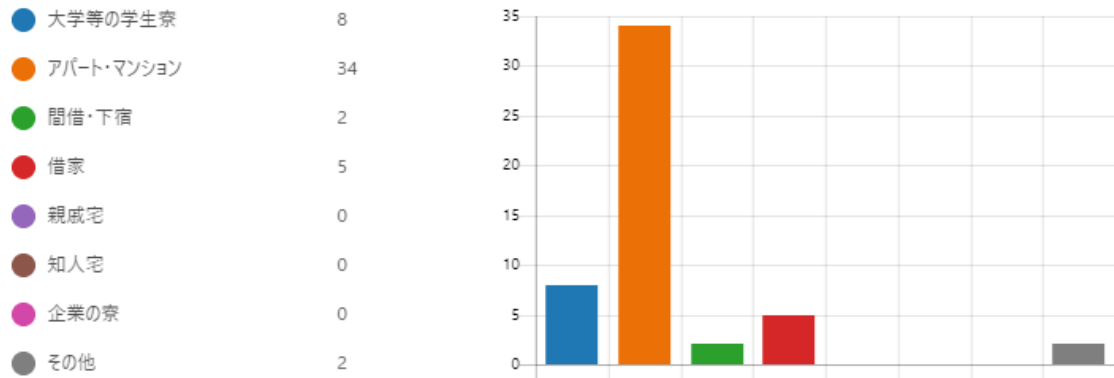


11. 日本語能力について（論文等を書くことについて）

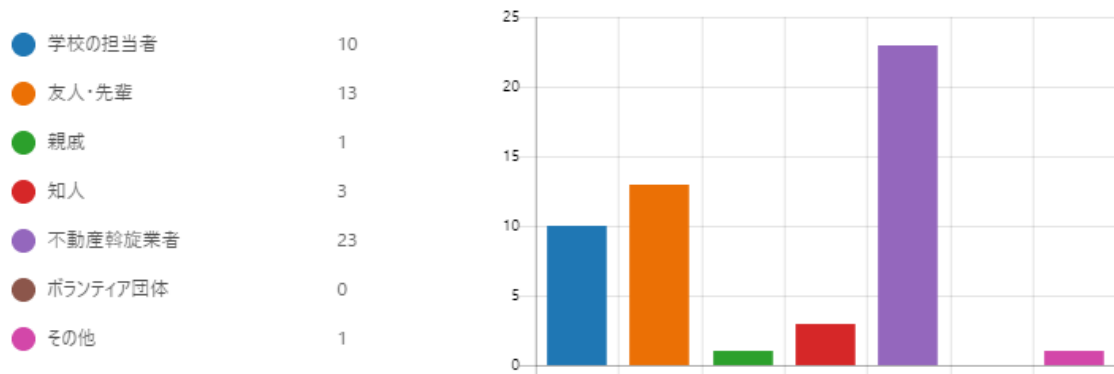
● わかる	24
● だいたいわかる	25
● あまりわからない	2



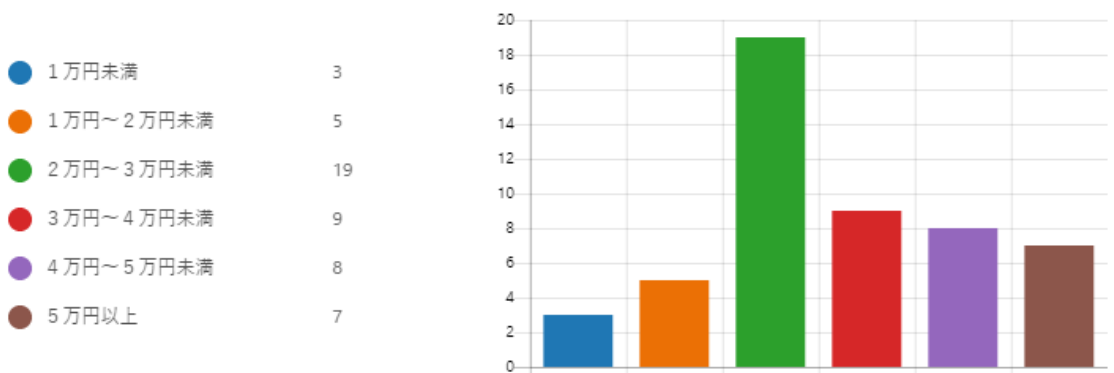
12. B) 住居・通学について現在の住居の種別はどれですか。



13. 現在の住居は、だれ（どこ）の紹介でみつけましたか。



14. 1か月当たりの住居の家賃はいくらですか。



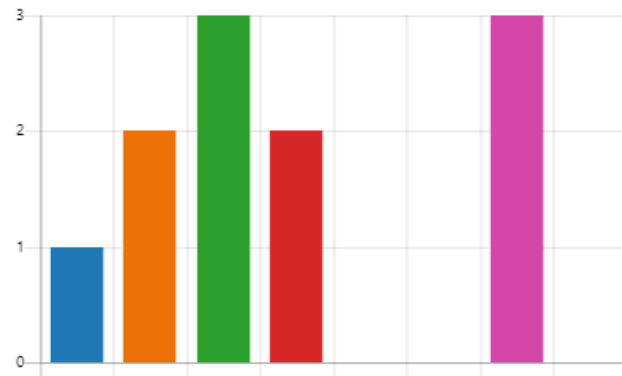
15. 現在の住居についてどう思いますか。

● 満足	20
● 普通	27
● 不満	4



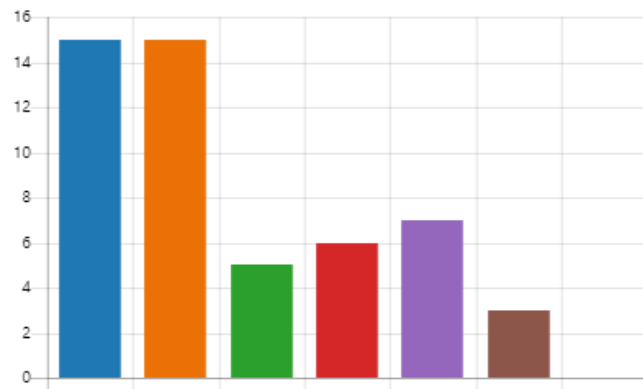
16. 問15で「不満である」と答えた人は、その理由を次の中から一つ選んで下さい。

● 部屋代・下宿代が高い	1
● 部屋が狭い・汚い	2
● 通学に不便	3
● 設備が不満	2
● 一緒に住んでいる人との人間関係...	0
● 家主・管理人との人間関係が好...	0
● 周囲の環境が悪い	3
● プライバシーが保ちにくい	0

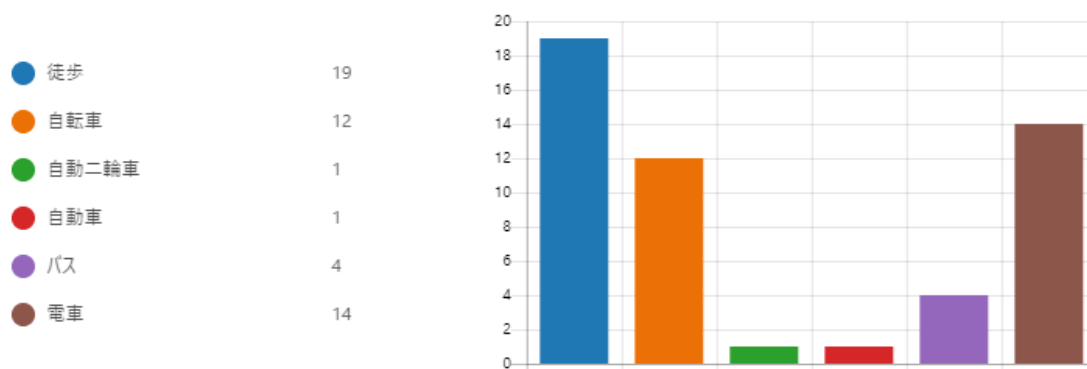


17. 片道の通学時間はどの位ですか。

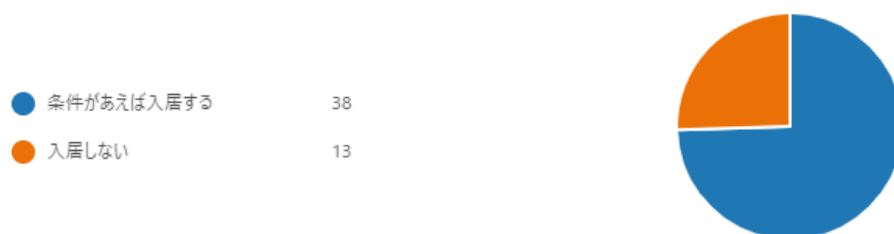
● 15分以内	15
● 30分以内	15
● 45分以内	5
● 1時間以内	6
● 1時間30分以内	7
● 2時間以内	3
● 2時間以上	0



18. 主な通学方法はどれですか。

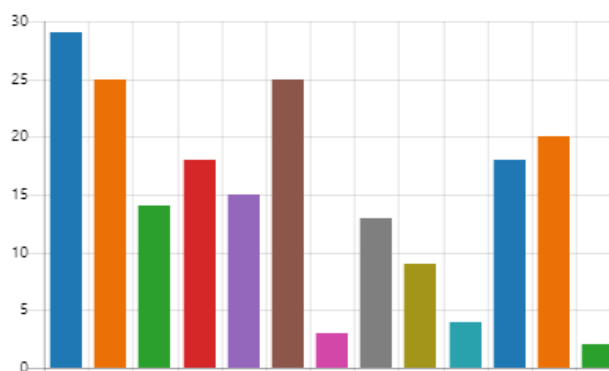


19. 和歌山地域留学生等交流推進協議会では、企業の寮などを留学生のための住居として貸与するように県内の企業に呼びかけたいと考えていますが、このような住居の提供があった場合、あなたは入居しますか。



20. (問19で「条件があれば入居する」と答えた人に。) その条件とはどのようなことですか。(複数回答可)

- 家賃や敷金・礼金が安いこと 29
- 個室であること 25
- 共同浴室でないこと 14
- シャワーがあること 18
- トイレが洋式であること 15
- 自炊ができること 25
- 外食であること 3
- 部屋が広いこと 13
- 寮での共同作業等を強制しないこと 9
- 留学生が複数入居していること 4
- 門限等、使用上のルールが厳しく... 18
- 周囲の環境が良いこと 20
- その他 2



21. 問19で「入居しない」と答えた人に。その理由は何ですか？

- 部屋ちいちゃい
- 学寮に入るべきとなっている
- 今住んでいる部屋を慣れました。
- 僧侶なので、お寺に住むことがいいだと思います
- バイトは不便ですね。
- 周辺環境とか
- 引っ越し 嫌い
- アルバイトとか大阪市でございます、和歌山から時間がかかります、交通費も高いです
- 一人で暮らしたいから

22. C) アルバイトについて あなたはアルバイトをしていますか。

● 現在している	18
● 以前したことがある	18
● したことがないが、さがしている	2
● したことがない	13



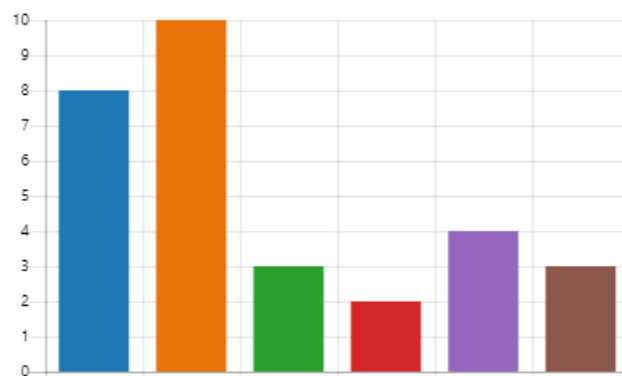
23. 一定の時間を越えてアルバイトする時は許可をえなければならないことや、種類によっては、してはいけないアルバイトがあることを知っていますか。

● 知っている	43
● 知らない	8

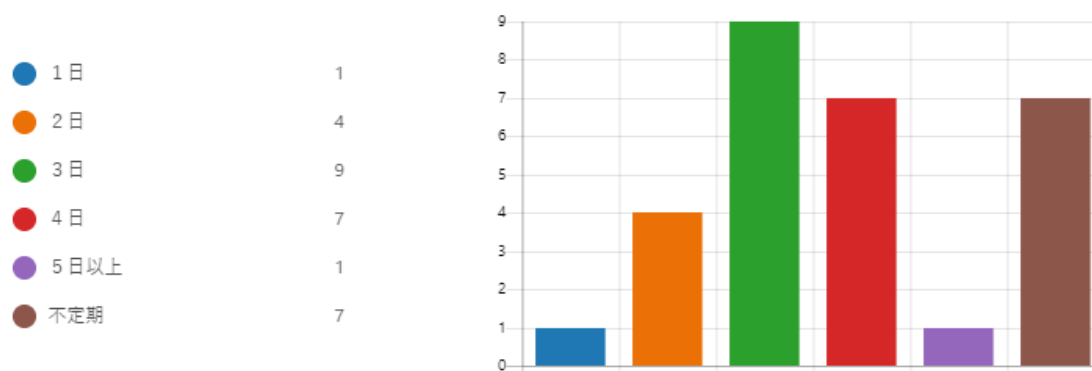


24. [アルバイトをしている人に。] どんな職種のアルバイトですか。

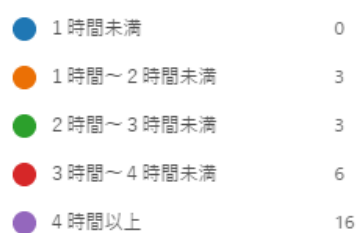
● 飲食業	8
● 語学教師, 通訳, 翻訳等	10
● 一般事務	3
● 技術関連事務	2
● 軽労働作業	4
● その他	3



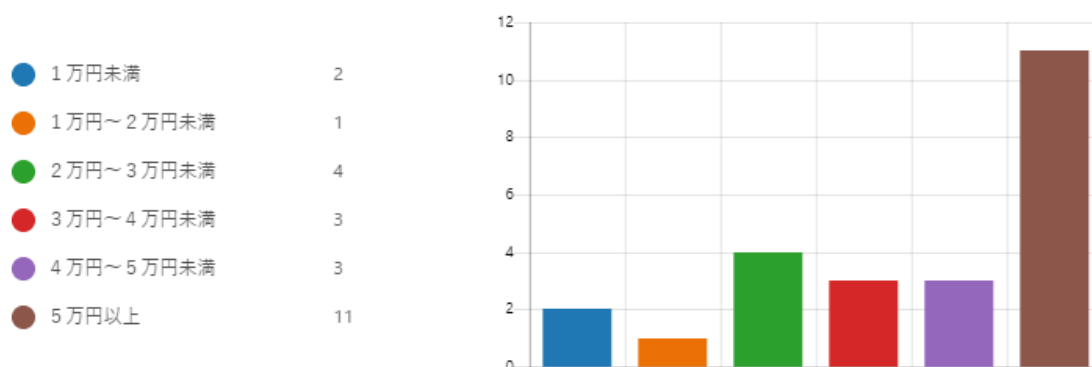
25.〔アルバイトをしている人に。〕1週間のアルバイト日数は何日ですか。



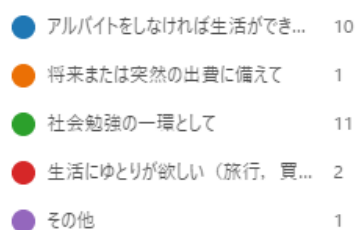
26.〔アルバイトをしている人に。〕1日のアルバイト時間は何時間ですか。



27.〔アルバイトをしている人に。〕あなたが最近1か月間でアルバイトで得た収入はおよそ何万円位ですか。



28.〔アルバイトをしている人に。〕アルバイトをしている理由は何ですか。





29. 【アルバイトをしている人に。】アルバイトの時に何か困ったことがありましたか。

- 外国人差別問題
- パワーハラ
- 日本語通じていないときに。

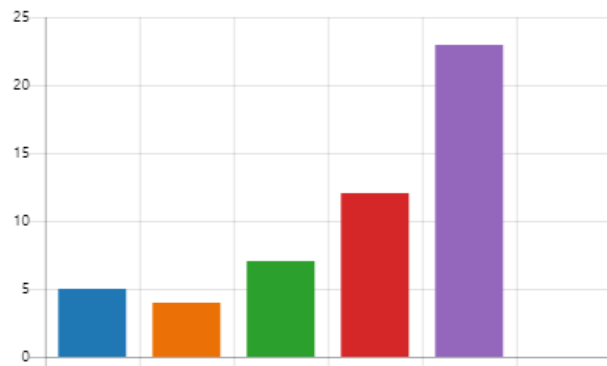
30. 【アルバイトをしていない人に。】アルバイトをしていない理由は何ですか。

● アルバイトをしなくても生活ができる	7
● 自分に適した職種が見つからな...	5
● やりたいが時間的余裕がない	9
● アルバイトが見つからない	1
● その他	0



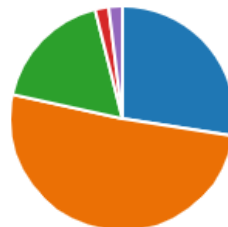
31. D) 生活費について あなたの留学経費は主として何によって得ていますか。

● 日本国政府負担	5
● 自国政府負担	4
● その他の奨学金	7
● 自己負担 (アルバイト等)	12
● 家族からの送金	23
● その他	0



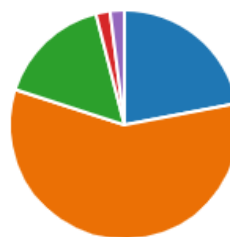
32. あなたの1か月の平均収入はどれくらいですか。

● 5万円未満	14
● 5万円～10万円未満	26
● 10万円～15万円未満	9
● 15万円～20万円未満	1
● 20万円以上	1



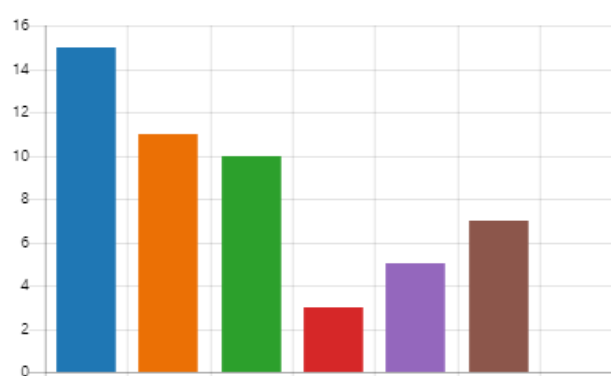
33. あなたの1か月の平均支出はどれくらいですか。

● 5万円未満	11
● 5万円～10万円未満	29
● 10万円～15万円未満	8
● 15万円～20万円未満	1
● 20万円以上	1



34. 日本での生活は、物価が高く苦しいこともあると思われませんが、あなたはどのように対処していますか。

● アルバイトを増やし、生活費の不...	15
● 食料や嗜好品を切りつめている	11
● 娯楽費を切りつめている	10
● 預・貯金を取り崩している	3
● 住居を安い下宿に変更した	5
● 特に影響を受けていない	7
● その他	0



35. E) 奨学金・授業料免除についてあなたは、現在奨学金を受けていますか。

● 奨学金を受けている	22
● 奨学金を受けていない	29

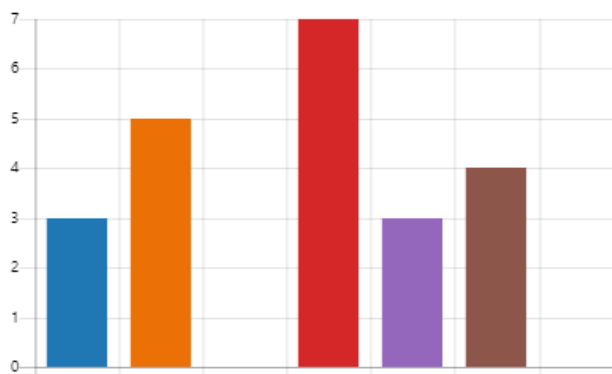


36. [奨学金を受けている人に。] 奨学金の額は1か月いくらですか。

(平均) ￥90,300

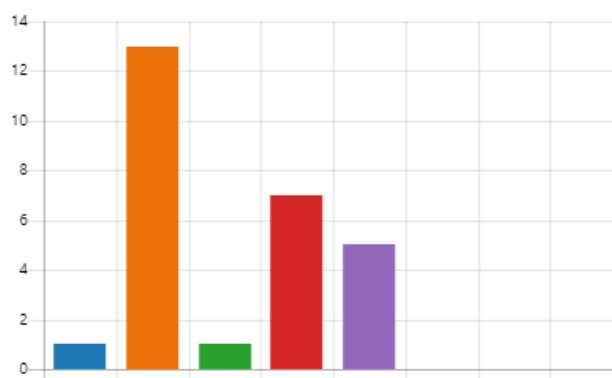
37. 〔奨学金を受けている人に。〕奨学金の種類は、次のどれですか。

● 日本政府奨学金	3
● 日本学生支援機構の学習奨励費	5
● 地方公共団体等（県、市町村...）	0
● 自国の政府または団体等からの...	7
● 日本国内の民間団体等による奨...	3
● 在籍大学等の奨学金	4
● その他	0



38. 〔奨学金を受けていない人に。〕奨学金を受けていない理由は何ですか。

● 経済的に不要	...	1
● 応募したが不採用		13
● 留学生が受けられる奨学制度が...		1
● 資格・条件が自分に合わない		7
● 手続きが面倒		5
● 金額が少ない		0
● 返還しなければならない		0
● その他		0



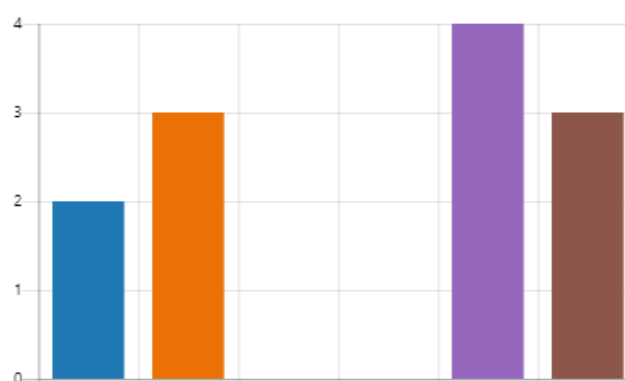
39. あなたは授業料免除（今年度前期分）をうけましたか。

● 全額免除	10
● 半額免除	28
● 出願したが不許可	2
● 出願しなかった	11



40. 〔授業料免除を出願しなかった人に。〕免除を出願しなかった理由は何ですか。

● 経済的に不要	2
● 出願しても許可にならないと思った	3
● 手続きが面倒	0
● 出願時期をみのがした	0
● 免除制度があるのを知らなかった	4
● その他	3



41. F) 健康について 現在、あなたの健康状態はどうですか。

● 健康	36
● 普通	15
● 不健康	0



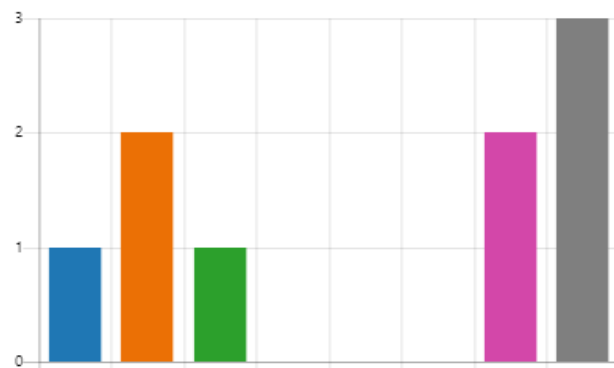
42. あなたは大学等が実施する定期健康診断を受けましたか

● 指定の検査項目を全部受けた	38
● 一部を受けた	6
● 受けなかった	7



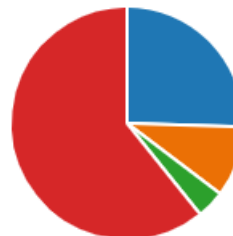
43. [定期健康診断を受けなかった人に。] 定期健康診断を受けなかった理由は何ですか。

● 知らなかった	1
● 忘れていた	2
● 講義があった	1
● サークル活動があった	0
● アルバイトのため	0
● 受けるのが面倒だから	0
● 健康なので受ける必要がなかった	2
● その他	3

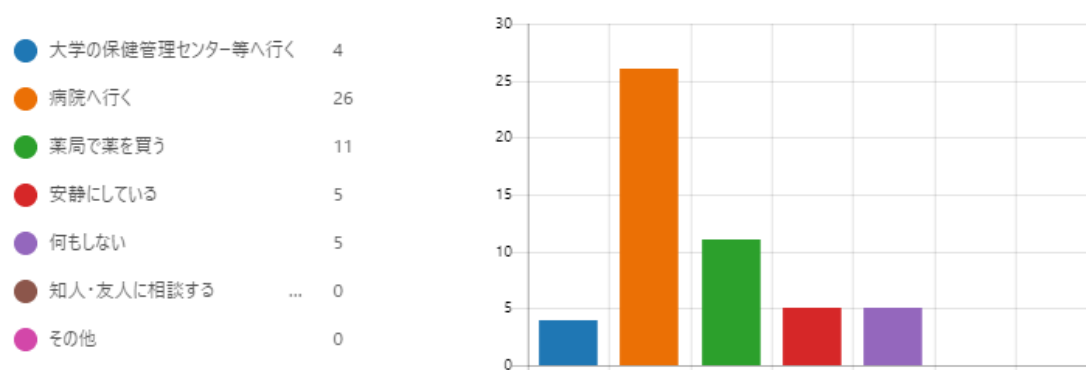


44. 過去 1 年間に病気やケガなどをしましたか。

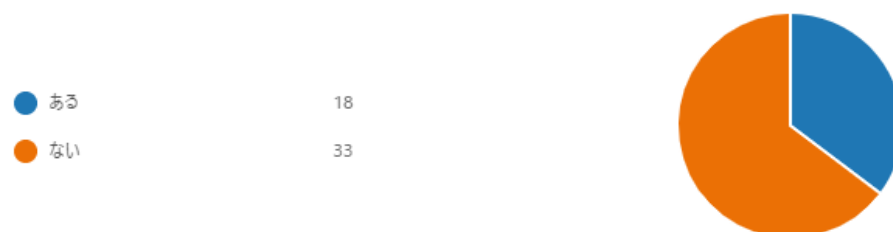
● 病気をした	13
● ケガをした	5
● 病気もケガもした	2
● いずれもしない	31



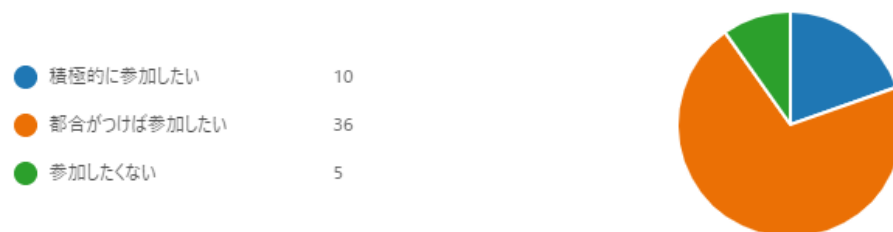
45. 体の具合が悪くなったとき、あなたはどのように対処しますか。



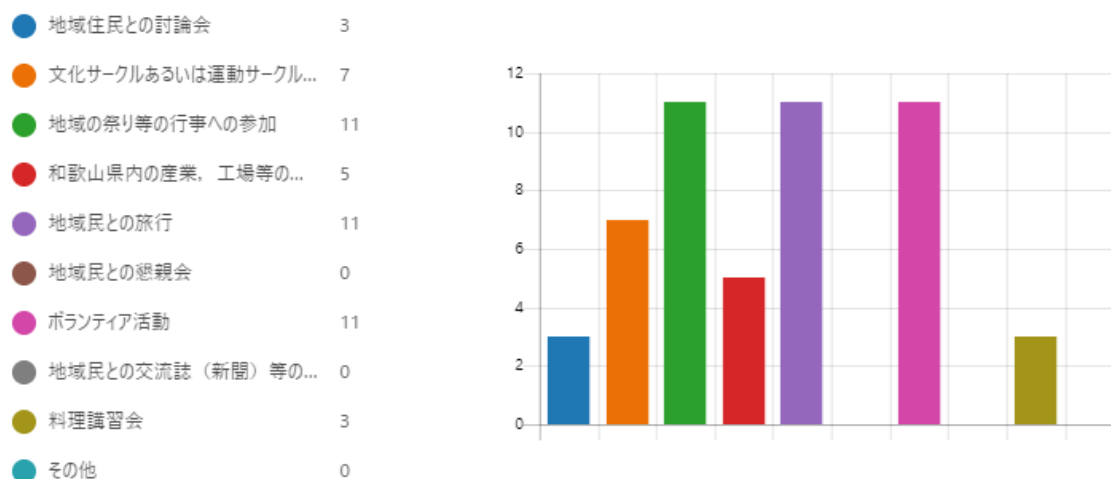
46. G) 和歌山地域住民との交流について あなたは、和歌山地域住民との交流の会に参加したことがありますか？



47. あなたは和歌山地域住民との交流の会についてどう考えていますか。



48. あなたは和歌山地域住民と今後どのような交流を希望しますか。



49. あなたはホームステイ、ホームビジットの機会があった場合参加しますか。

● 参加する	37
● 参加しない	14



50. 帰国後の交流について希望しますか。

● 希望する	49
● 希望しない	2



51. 帰国後の交流で希望すること。

● ホームステイ交流	10
● スポーツ・文化交流	14
● 学术交流	18
● 貿易	8
● その他	1

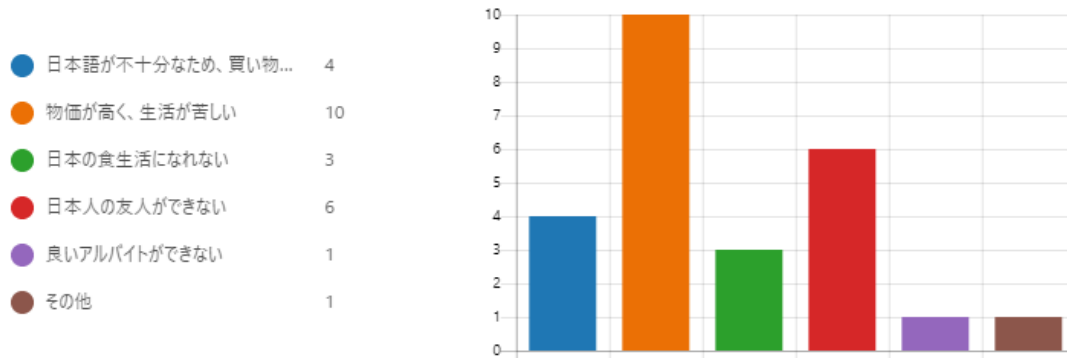


52. H) その他日本で生活するうえで、困ったことがありましたか。

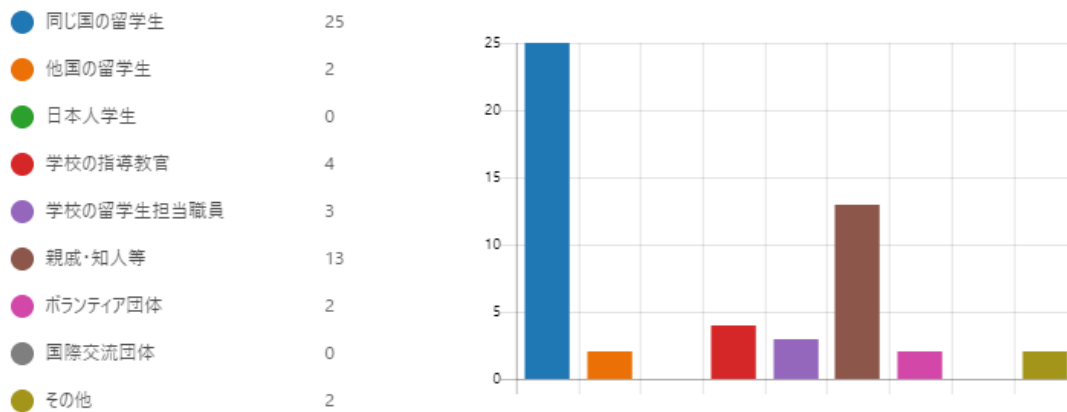
● ある	24
● ない	27



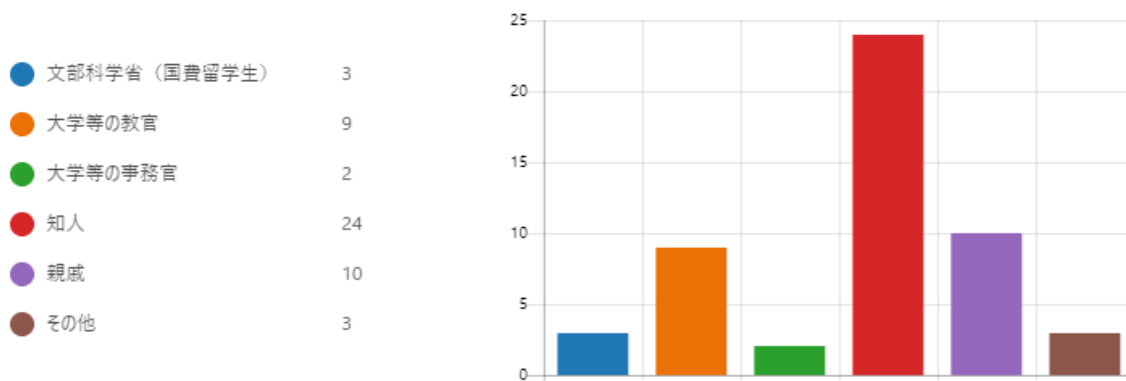
53. [問52で困ったことがあったと答えた人に。] 困ったことは次のどれですか。



54. 困ったときに相談する人は、次のどなたですか。



55. あなたの大学等における身元保証人はどなたですか。



56. 身元保証人を見つける時に、どんな困難がありましたか。

- 日本人から、保証人になることがいつも難しいです。
- 日本で住んで必要がある
- 保証人になれるひといない
- 誰しもなってくれたなかったじゃないですか？
- 他人が嫌がる
- 他人にはご迷惑をするかどうか、気になりました。

57. 学校の事務サービスについて、どんなことを希望しますか。

- まだ、事務サービスについて情報がありません。
- 先生方々はとても素晴らしいので、特にはないです。
- 生活援助
- よいバイトを紹介したいです。
- 他の人と交流できる活動を増えたい。
- 今は特にはないです。満足しています。
- 今は事務サービスがいいと思います。
- 留学生もが日本人の学生みたいに学校の代表として何か参加したりになる
- 積極的にサポートしてほしい
- アルバイト紹介
- サービスが満足します、ほかの希望はないです。
- できれば英語しゃべられるスタッフが欲しいです
- 定期的に学生の状況を把握したその後に、すべき事を考えると思います。
- 物件探すときに日本人の保証人が必要になってくる場合が多く、その時に手伝ってくれるサービスがあると非常に助かります。

58. 留学生として、地域や大学にどんなことを望みますか。また、和歌山に滞在しての感想、意見を自由に記入してください。

- 地域としてのスポーツ大会、旅行、文化紹介、留学生に対して英語の勉強、地域的な、バスケットボールのサークル。
- 和歌山大学は山の上にあるので、通学の時に山を登ることは大変だと思う。他は、料理材料の値段はいい、あまり高くないと思うのですが、学生用物（ペン、紙、ノート、。。。）はちょっと高いと思う。



- 留学生として、今まで不満なことは特にはないですが、現在、後輩が日本に来て授業料免除を受けることができなかったという状態になっています。それは今後、留学生が免除を受けることができなくなると同じだ。その状況になったら、留学生が経済不足という理由でだんだん日本に来なくなると思います。それをどうしても防ぎたいものです。そのため、大学が前のように留学生にも授業料免除を受けさせたいです。
- 両方です。大学の景色、人が大好きです
- 留学生に対して授業料免除制度を設けることを望みます。和歌山に住んでおり、周りの方が非常に熱心であり、優しいと感じました。
- もっと地域的な国際交流活動を行ってほしいです。和歌山に穏やかに暮らして、自然が豊かに感じています。
- 日本の文化が面白いですが、自国の文化も大事です。日本に長期間で住んでいる私は「日本人みたい」という言葉が一番辛い言葉です。
- とってもいい都市です。人もすごく優しいです。
- 留学生が参加できる文化振興活動をもっと企画していきたいです。和歌山に住むことはとても幸せなことであり、生活は快適です。
- 就職支援、引越し支援
- 日本人学生だけではなく、色々な県内の方と話したい。日本人の生活の習慣をもっと知りたい
- 日本に来る前にずっと関西のあたりに行きたいなと思っていました。運が良くて和歌山高専に来られてうれしいです。和歌山は暑すぎるもないし寒すぎるもないからできれば高専卒業後、関西当たりの大学に進学したいと希望しています。
- 地域住民との交流機会が増えてほしいです。
- 和歌山の文化・風俗を体験したいと思います。
- もっと交流する機会を増やしてほしい
- 国際寮を作ってほしい
- 交通が不便です
- 和歌山はいいところだと思います。たくさんいい人に会えて、よかったです。
- 留学生に対する福利厚生。例え、税金の減少とか
- 交流会もっと行って欲しいです。和歌山では楽しいです。
- 留学生同士の交流の機会を増やしてほしいです。
- 和歌山の交通はちょっと不便です 特に和歌山港駅へ行く時
- 環境は良いけど冬は寒い、ストーブには苦手から冬に苦しいです。
- 高野山と高野山の間の人間達を大好きです。

- 地域の文化交流や大学間の交流などを希望します。
- いろいろな国留学生いる方がいいです
- 有名度を上げて欲しいですね。頑張ってください。中国のみんな、和歌山大学を知ってる人は少ないです。
- 今は大阪に住んでいますが、和歌山が生活の利便性向上、もっと賑やかになればいいと思います。
- 和歌山大学の学生として嬉しいです。和歌山大学が好きです、2年間ありがとうございました。
- 人口密度の高いところが苦手なので、東京などよりもここで穏やかに過ごせている。
- 学費を免除したいと思います、住みやすい所と判断しております。
- 和歌山大学授業の面には満足しています。一つ改善点があるとすれば、食堂にハラルの料理の導入です。大学にはイスラム教の人が多く在学しており、食べれるものはうどんとサラダぐらいです。
- 日本人と交流会などがあれば、いいと思います。また、和歌山の農業は強いので、見学の機会があれば、とても嬉しいと思います。

令和2年度 県内外国人留学生との交流行事(事業)に関する調査

機関・団体名	実施期間	行事(事業)名
和歌山大学	令和2年4月	留学生オリエンテーション・新入留学生歓迎交流会
	令和2年7月	留学生による研究発表会
	令和2年8月	留学生による作文コンクール
	令和2年8月	和歌山大学とウズベキスタン世界経済外交大学とのオンライン交流会
	令和2年8月	ウズベキスタン日本語教育セミナー
	令和2年8月	交換留学報告会
	令和2年9月	日本語・日本文化研修生修了式
	令和2年9月	留学生派遣交流(和歌山県立橋本高等学校訪問)
	令和2年10月	留学生派遣交流(公財)和歌山県国際交流協会主催オンラインイベント参加)
	令和2年10月	オンライン新入留学生歓迎交流会
	令和2年11月	ブリッジウォーター州立大学(アメリカ)とのオンライン交流会 第1回
	令和2年11月	日本留学フェアinウズベキスタン
	令和2年11月	秋派遣交換留学ガイダンス
	令和2年12月	第18回学長杯「留学生による日本語スピーチコンテスト」
	令和3年2月	ブリッジウォーター州立大学(アメリカ)とのオンライン交流会 第2回
	令和3年3月	和歌山大学国際シンポジウム 第1回「アジアにおける日本語教育—現状と課題—」
	和歌山県立医科大学	令和3年1月
高野山大学	令和2年4月	新入留学生オリエンテーション
	令和2年8月	和歌山大学主催:第18回学長杯「留学生による日本語スピーチコンテスト」参加
和歌山工業高等専門学校	令和2年12月	和歌山工業高等専門学校留学生交流行事 学校近辺の名所を案内(道成寺、日高川町防災センターの見学等)
和歌山県日中友好協会	令和2年10月	「中日友好千年萬年」の記念碑顕彰式典 中国駐大阪総領事館の職員と中国からの留学生が参加して毎年行っている。
公益財団法人 和歌山県国際交流協会	令和2年10月	インターナショナルカフェ 「One World」 on Zoom 講演会及びトーク交流会(留学生など8ヶ国・地域の外国人の方と交流を行った。)
NPO法人 WINコンコード	令和2年4月	生活関連の情報提供や支援/生活用品の貸与(自転車・炊飯器等)
	～	ホストファミリーとしての支援(生活相談や病院等への付き添い)
	令和3年3月	就職活動支援(事務所での相談対応やオンラインでの相談も実施) 卒業生との交流(近況報告や感染症予防にとマスクを送ってきてくれた) 新私費留学生への支援(希望者12名に図書カードを贈呈した)
	令和2年4月	新入生歓迎お花見 少人数で根来寺、県立緑化センター、紀三井寺、加太方面、大池遊園地訪問。
	令和2年5月	総会・留学生によるスピーチ 総会后、留学生による自国や日本での生活についてスピーチをもらった。
	令和2年6月	世界文化遺産や日本文化遺産 小旅行(法隆寺、飛鳥寺)
	令和2年9月	送別会 紀三井寺、和歌浦、加太方面を訪問 美術音楽等鑑賞(県立美術館、デンハーグピアノ五重奏団コンサート)
	令和2年10月	世界文化遺産や日本文化遺産 小旅行(高野山・華岡青洲の里) 歓迎会(市内観光をして、交流を行った。)
	令和2年11月	世界文化遺産や日本文化遺産 小旅行(高野山)
	令和2年12月	第18回学長杯留学生による日本語スピーチコンテストへの支援 八朔狩りと忘年会
	令和3年1月	お正月行事体験 初詣(東照宮、玉津島神社、紀三井寺、天満宮)
	令和3年2月	会社訪問(予定)もしくは県内各所名所旧跡案内
	令和3年3月	日本文化の体験 振袖試着体験及び記念撮影会

< 交流行事写真 >

< 和歌山大学 >

● 第 12 回 留学生による作文コンクール 表彰式



● 日本語・日本文化研修生修了式



● 留学生派遣交流 (橋本高校)



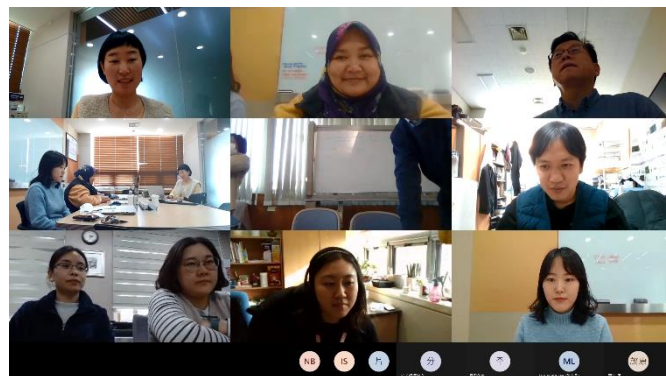
● 第 18 回学長杯「留学生による日本語スピーチコンテスト」



<交流行事写真>

<和歌山県立医科大学>

●日韓先端医工学オンラインシンポジウム



<和歌山工業高等専門学校>

●和歌山工業高等専門学校留学生交流行事



<交流行事写真>

<和歌山県日中友好協会>

- 「中日友好千年萬年」の記念碑顕彰式典



<公益財団法人和歌山県国際交流協会>

- インターナショナルカフェ「One World」 on Zoom



< 交流行事写真 >

< NPO 法人 WIN コンコード >

● 新入生歓迎お花見



● 番所庭園歓迎会



● 八朔狩りと大根引き



● 忘年会



● お正月体験



## 和歌山地域の留学生受入状況

令和2年11月現在

大学等名		和歌山大学	和歌山県立医科大学	高野山大学	近畿大学 生物理工学部	和歌山信愛 女子短期大学	和歌山工業 高等専門学校	合計	
国名(地域)	大学等名								
アジア	中国	82	3	12	8	-		105	
	マレーシア	13		1		-	3	17	
	韓国	5				-		5	
	ベトナム	8		1		-		9	
	インドネシア	3				-		3	
	シンガポール					-		0	
	台湾	4		1	1	-		6	
	ネパール			1		-		1	
	タイ					-		0	
	フィリピン		1			-		1	
	カンボジア			5		-	1	6	
	バンラデッシュ					-		0	
モンゴル	4				-	4	8		
ラオス					-	1	1		
オセアニア	ソロモン諸島					-		0	
欧州	フランス	2				-		2	
	イギリス					-		0	
	ブルガリア					-		0	
	ベラルーシ					-		0	
	ハンガリー					-		0	
	スイス					-		0	
	ロシア					-		0	
	タジキスタン	1						1	
	ウズベキスタン					-		0	
	カザフスタン					-		0	
アルバニア		1					1		
中東	イラン	1							
	トルコ					-		0	
アフリカ	ガボン					-		0	
	ガーナ					-		0	
	ウガンダ					-	1	1	
	エジプト	1	1			-		2	
	コンゴ		1			-		1	
ナイジェリア		1			-		1		
北米	アメリカ合衆国					-		0	
中南米	アルゼンチン					-		0	
	ブラジル					-		0	
合計 (19カ国)		124	8	21	9	-	10	172	
留学費用別内訳	国費留学生	3	5			-	3	11	
	私費留学生	外国政府派遣留学生	11				-	7	18
		交換留学生	0				-		0
		県費留学生					-		0
		上記以外留学生	110	3	21	9	-		143
合計		124	8	21	9	-	10	172	



和歌山地域留学生の推移

	全国5/1	県全体 10/1	和歌山大学	和歌山県立 医科大学	高野山大学	和歌山工業 高等専門学校	近畿大学 生物理工学部	和歌山信愛 女子短期大学	近畿大学 青鞥短大
平成2年	41,347	36	17	9	6	4			
平成3年	45,066	33	25	3	1	4			
平成4年	48,561	41	29	7	1	4			
平成5年	52,405	55	40	8	3	4			
平成6年	53,787	76	58	9	3	5			1
平成7年	53,847	78	58	9	3	5		2	1
平成8年	52,921	76	59	8	1	6		2	
平成9年	51,047	78	55	12	4	7			
平成10年	51,298	75	53	13	3	6			
平成11年	55,755	86	71	9	1	5			
平成12年	64,011	93	75	12	1	4	1		
平成13年	78,812	103	80	17	2	3	1		
平成14年	95,550	123	96	18	3	4	2		
平成15年	109,508	138	110	18	3	5	2		
平成16年	117,302	173	143	20	3	6	1		
平成17年	121,812	178	147	18	3	9	1		
平成18年	117,927	180	150	16	3	10	1		
平成19年	118,498	170	138	18	1	12	1		
平成20年	123,829	174	140	18	1	14	1		
平成21年	132,720	186	151	15	1	16	3		
平成22年	141,774	180	147	13	1	15	4		
平成23年	138,075	178	151	6	1	16	4		
平成24年	137,756	201	177	13	1	8	2		
平成25年	135,519	215	201	4	0	9	1		
平成26年	※184,155	228	206	8	3	8	3		
平成27年	208,379	207	186	5	3	8	5		
平成28年	239,287	176	150	4	6	8	8		
平成29年	267,042	174	137	7	14	7	9		
平成30年	298,980	204	156	6	26	8	8		
令和元年	312,214	216	171	7	21	9	8		
令和2年	未掲載	172	124	8	21	10	9		

※平成26年度より高等教育機関及び日本語教育機関における総数を本調査における留学生数としている。(独立行政法人日本学生支援機構ホームページ記載  
[https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl\\_student\\_e/index.html](https://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/index.html))

## 事業報告

○令和2年2月20日、和歌山大学（南1号館3階共通会議室）において、令和元年度和歌山地域留学生等交流推進協議会（総会）及び運営委員会が同日に開催された。

協議会は、恵下隆議長（和歌山大学研究・産学連携理事：学長代理）が挨拶し、続いて井伊博行運営委員長（和歌山大学国際連携部門長）より、令和元年度事業報告（広報誌「きのくに」30号の発行、留学生の生活実態に関するアンケート調査）について報告が行われた。

運営委員会は、協議会関係諸団体の留学生交流活動（事業）についての報告が行われ、情報共有を行った。また「和歌山地域留学生等交流推進協議会及び運営委員会」の今後についてアンケート調査を行い、その結果を基に、次回の実施について検討したいと説明等が行われた。

なお、令和2年度事業計画として、次のことを実施していくことで承認された。

- ① 県内における留学生の受入れ推進に関すること。
- ② 宿舍確保の推進に関すること。
- ③ 外国人留学生と地域との交流の推進に関すること。
- ④ 各界への理解と協力についての啓発活動に関すること
- ⑤ 広報誌「きのくに」第31号の発行について

※各界の理解と協力を得る上での啓発活動は、留学生の生活実態に関するアンケート調査、協議会関係諸団体の留学生交流活動行事（事業）に関する調査並びに私費外国人留学生への支援活動等について検討し実行することとする。

○当協議会関係諸団体の「留学生交流活動行事（事業）に関する調査」を実施。

○留学生の生活実態に関するアンケート調査を実施。

## 和歌山地域留学生等交流推進協議会要項

(趣旨及び目的)

第1 和歌山県内における外国人留学生等の円滑な受け入れの促進及び地域との交流活動の推進を図るとともに、地域住民の国際理解の増進に寄与するため、和歌山地域留学生等交流推進協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(事業)

第2 協議会は、第1に掲げる目的を達成するため、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 留学生の受入れの推進
- (2) 留学生の勉学条件及び生活環境の整備
- (3) 留学生と地域住民との交流の推進
- (4) 地域住民に対する啓発
- (5) その他協議会の目的達成に必要な事業

(組織)

第3 協議会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 和歌山県内の高等教育機関、国の機関、地方公共団体、経済団体及び留学生 国際交流関係団体のうちの関係機関 団体の長又は代表者 各1名
- (2) 学識経験者若干名

2 前項の委員は、議長が委嘱する。

3 第1項第2号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

(議長)

第4 協議会に議長を置き、委員の互選により選出する。

2 議長は、協議会を招集する。

3 議長の任期は、4月1日より2年間とし、再任を妨げない。

(委員以外の者の出席)

第5 議長が必要と認めるときは、委員以外の者を協議会に出席させることができる。

(運営委員会)

第6 協議会の円滑な運営を図るため、協議会の下に和歌山地域留学生等交流推進協議会運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

2 運営委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 第3の第1項第1号に定める機関 団体から推薦された実務担当責任者各1名
- (2) その他協議会が必要と認めた者 若干名

3 前項の委員は、協議会議長が委嘱する。

4 第2項第2号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

5 運営委員会に委員長を置き、協議会議長が指名する者をもって充てる。

6 委員長の任期は、4月1日より2年間とし、再任を妨げない。

(事務)

第7 協議会及び運営委員会の事務は、国立大学もしくは地方公共団体等が担当する。

(雑則)

第8 この要項に定めるもののほか、協議会及び運営委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要項は、平成2年2月13日から施行する。

附 則

この改正要項は、平成13年4月1日から施行する。

### 和歌山地域留学生等交流推進協議会に関する申合せ事項

○ 協議会の運営について

1. 協議会は、年1～2回開催することとする。
2. 協議会には、必要に応じ運営委員会委員の出席を求めるものとする。

○ 運営委員会の運営について

1. 委員長は、運営委員会を招集し、その議長を務める。
2. 運営委員会は、協議会の事業計画に関する具体的事項について協議するため、適宜開催するものとする。
3. 運営委員会の運営に関し必要な事項は、運営委員会が定める。

○ 協議会議長並びに運営委員会委員長の任期の取り扱いについて

1. 協議会議長並びに運営委員会委員長の出身団体における任期が終了した場合、前任者の残任期間は、出身団体における後継者が、その任にあたる。

附 則

この改正事項は、平成13年4月1日から施行する。